

- *身の回りのたまり水をなくして蚊の発生を減らしましょう！…… 1
- *くすりを正しく知って正しく使ってくすりの正しい知識を身につけよう……… 2
- *レッツゴー！ 骨髄ドナー登録ドナー登録であなたも命をつなぐヒーローに！……… 3
- *予防しよう！ お肉の食中毒 …… 4

健康だより

多摩立川保健所 2022 vol.1

身の回りのたまり水をなくして蚊の発生を減らしましょう！



いよいよ夏本番、蚊の発生シーズンを迎えます。蚊は人を刺すだけでなく、デング熱やジカウイルス感染症などのウイルスを広める原因となります。安全・安心な夏を過ごすために、蚊の発生を減らしましょう！！

たまり水をなくして幼虫ポウフラ対策

<p>雨ざらしの容器</p>	<p>タイヤ</p>	<p>植木鉢の受け皿</p>	<p>つまった雨どい</p>	<p>集水ます 薬剤散布する。 (薬剤を使用する場合には使用法の注意を読んでから使用してください。)</p>
<p>カバーをかける、水を捨てる、片付ける。</p>			<p>掃除する。</p>	

蚊の成虫は飛ぶため、防除が難しくなります。水中に生息する幼虫（ポウフラ）のうちに退治することが効果的です。

身近にいる蚊、ヒトスジシマカ（ヤブカ類）



体長 : 4.5mm 前後
 生息場所 : やぶや草むらなどの風通しの悪いところ
 活動時間 : 朝方から夕方まで
 ライフサイクル : 条件が良いと 12 日ほどで卵から成虫になる
 成虫は 30~40 日生きる
 活動範囲 : 半径 100~150m

詳しい情報は東京都福祉保健局のホームページをご覧ください。

東京 蚊

検索

【この記事に関するお問合せ】生活環境安全課 環境衛生担当

○東京都多摩立川保健所○

☎042-524-5171 (代表) 東京都立川市柴崎町2-21-19

ホームページアドレス <https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/tthc/>

一人一人の「感染しない、感染させない」行動の積み重ねこそが、最大の対策です

活字文字読上げ装置を使って内容を音声で聞くことができます。

